

解決の知恵袋

～ピア・サポートによる解決志向紙上相談～

黒沢幸子

対象：小学生・中学生・高校生
活用場面：学級でグループをつくって実施

このワークシートのねらいは…

解決志向の紙上相談をピア・サポートによって行います。子どもたち自身が解決の専門家であり、友だち皆がリソースをもっています。解決のアイデアを交換して、実際に役立つ最強のアイデアを各自が手に入れます。

こんなふうに使います！

1. 4～5人のグループをつくり、各自が①困っていること、②解決像を書きます。
2. グループの中で、ワークシートを順番に回し、自分以外のメンバーの①と②を読み、自分の名前を書いて、それに対するアイデアを③の欄に書き込みます。これをメンバー全員が行い、終了したら、本人にワークシートをそれぞれ戻します。
3. 各自が自分のワークシートに書き込んでもらった③のアイデアを読み、もっとも気に入ったアイデアをチェックして選び、④選んだ理由・感想を書きます。
4. グループ全体で、各自が選んだアイデアと④についてシェアし、話し合います。

留意点&困ったときの対応のヒント



アイデアは、「相手のことを思って考えてあげること」「なるべく具体的で、相手が実際にできそうなことを書いてあげること」を事前に伝えておくといいでしょう。「みんなにはきっといい知恵があるし、いいアイデアが出るに違いないね、楽しみだね」と期待を伝えましょう。「ふざけたり困らせたりするような内容はいけません」と、起こりうる問題について注意を与えるのではなく、うまくいく期待を伝えることがコツです。これが解決志向の実践方法です。

アイデアが浮かばないという子どもには、相手のいいところやがんばっているところを書いてあげるように伝えます。

実践エピソード

お互いにアイデアを書き合うので、子どもたちは真剣です。教師や大人が思いつかないような子ども目線の有益なアイデアが驚くほど出てきます。子どもたちは、友だちから様々なアイデアをもらえたことが力になり、自分で困りごとに対処し、解決の状態を実現させるようになります。

解決の知恵袋

年 組	
①いま、困っていること	
②こんなふうになったらいいな（解決像）	

氏名	③アイデア（やってみたらいいこと、役立ちそうなこと）	チェック



④このアイデアを選んだ理由・感想

